

第84回日本公衆衛生学会
「フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理」

開催のご案内

2025. 9. 3版

フェーズフリーの
地域づくりと
健康危機管理

第84回 日本公衆衛生学会総会

2025年10月29日(水)~31日(金)

会 場 | グランシップ (静岡県コンベンションアーツセンター・静岡市)

学会長 | 尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学講座 教授

実行
委員長 | 田原 康玄 静岡社会健康医学大学院大学 教授

運営事務局 | 株式会社コンアール東北支社 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-6-1 仙台第一生命タワービルディング
TEL:022-723-3211 FAX:022-723-3210 E-mail:jsph84@comagn.co.jp

<https://plaza.umin.ac.jp/~jsph84/>



フェーズフリーとは、平時の務め仕組みが、危機時にも無駄なく役立つことです。

第84回日本公衆衛生学会総会「フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理」が静岡県で初めて開催されます

みなさま。こんにちは。学会長の尾島俊之です。本案内にお目通しいただき、ありがとうございます。

第84回日本公衆衛生学会総会が、2025年10月29日（水）～31日（金）に静岡市のグランシップで開催されます。日本公衆衛生学会は、公衆衛生の発展に向けた研究と実践、人材育成を担う、会員9,600名を超える社会医学分野で最大規模の学会であり、毎年総会が開催しています。今年の第84回総会は、80年余りの歴史で初めて静岡県で開催されます。

今年の総会テーマは「フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理」。災害、感染症、生活習慣病、メンタルヘルス、地域連携、健康経営、AI・データ活用など、日常と非日常の両面から健康を支える幅広いテーマを取り上げます。さらに特別講演には金井宣茂JAXA宇宙飛行士を講師にお迎えする予定です。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。



尾島俊之 Toshiyuki Ojima
浜松医科大学 医学部 医学科
健康社会医学講座 教授

第84回日本公衆衛生学会総会

フェーズフリーの
地域づくりと
健康危機管理

2025年10月29日(水)～31日(金)

会場 | グランシップ (静岡県コンベンションアーツセンター・静岡市)

学会長 | 尾島 俊之 (浜松医科大学健康社会医学講座 教授)

実行委員長 | 田原 康玄 (静岡社会健康医学大学院大学 教授)



▶総会ホームページ



▶総会プロモーションビデオ

開催概要

学会名	第84回日本公衆衛生学会総会
テーマ	フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理
会期	2025年10月29日（水）～10月31日（金）（2025年10月28日・プレ企画）
学会長	尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）
会場	グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）
運営事務局	株式会社コングレ東北支社 TEL：022-723-3211 E-mail：jsph84@congre.co.jp

本総会は現地開催とオンデマンド配信を行います

参加ご登録

学会総会への参加登録はインターネットを利用したオンラインでの登録です。学会総会ホームページの「参加登録」からお申し込みください。

なお、参加登録を行う期間により参加登録費が異なりますのでご注意ください。



▶総会ホームページ

事前参加登録	登録期間：2025年9月12日（金）まで	参加登録費：8,000円
当日参加登録	登録期間：2025年9月13日（土）-10月31日（金）	参加登録費：10,000円

日本公衆衛生学会とは

▶日本公衆衛生学会
ホームページ



日本公衆衛生学会は1951年発足した、現在約9600人の会員を擁する社会医学分野で最大の学会です。学術研究・政策提言・専門家育成などを通じて、公衆衛生の知見を社会へ広く届ける活動を展開しています。

本学会のミッション

本学会のミッションは、わが国の公衆衛生の向上・増進に寄与する科学的エビデンスの創出と、それに基づく公衆衛生活動の実践・評価と政策への提言、そして、それらを通じた人材育成です。

主な活動内容

学会総会

毎年1回、全国規模の総会を開催しています。本学会のミッションの達成に向けてアカデミアのみならず行政や保健医療機関から4,000人程度が参加し、研究成果や活動実績の報告、シンポジウム、教育講演などを実施しています。

第84回総会は、これまでの80年余りの学会の歴史で、初めての静岡県での開催となります。



学会誌「日本公衆衛生雑誌」の発刊

学会誌「日本公衆衛生雑誌」は、昭和29年(1954年)に創刊された日本公衆衛生学会の定期刊行物です。学術誌として研究論文や活動報告を掲載し、月刊で発行されています。掲載論文はJ-STAGEからご覧いただけます。



▶J-STAGE



委員会活動

多岐にわたる公衆衛生の課題に取り組む委員会を運営し、様々な健康問題への対応に関して、政策への提言や要望を行っています。

- 感染症対策委員会
- 災害・緊急時公衆衛生活動委員会
- たばこ対策委員会
- 公衆衛生分野における行政管理栄養士のあり方委員会
- メンタルヘルス・自殺対策委員会
- 睡眠・栄養に関する委員会
- 地域リハビリテーションのあり方委員会
- 学校保健のあり方委員会
- 高齢者の保健医療福祉に関する委員会 など

公衆衛生専門家制度・社会医学系専門医制度

認定専門家制度や、社会医学系の専門医資格支援など、専門性を高めたい会員の学びやキャリアの支援体制を構築しています。また、保健師、管理栄養士、薬剤師等の多職種の研修・認定制度の支援も行っています。

第84回日本公衆衛生学会総会 「フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理」



学会総会ホームページ

静岡県で開催される第84回総会のテーマは、『フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理』です。本総会を通じて、静岡に集う多くの公衆衛生関係者と県内の関係者が交流し、その協働が静岡県の公衆衛生のさらなる発展へとつながることを期待しております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

フェーズフリーとは

フェーズフリーとは、**平時に用いられる物や仕組みを、危機時にも垣根なく活用できる考え方**を指します。静岡県では、1970年代に東海地震説が提唱されて以来、防災運動が積極的に展開されてきました。その間にも、東日本大震災をはじめとする地震や風水害、新型コロナウイルス感染症のパンデミックなど、数多くの健康危機が発生しています。次なる健康危機への備えは、まさに公衆衛生学が取り組むべき重要課題となっています。

静岡県の健康寿命 日本一

一方で、静岡県は全国トップクラスの健康寿命を誇っています。令和4年の健康寿命は、男性73.75歳、女性76.68歳で、男女ともに全国第1位でした。温暖な気候や製造業を中心とした経済活動に加え、積極的な公衆衛生活動が展開されており、その成果として厚生労働省の第1回「健康寿命をのばそう！アワード」において最優秀賞を受賞しています。

健康づくりの推進においては、行政だけでなく、地域住民や教育・研究機関を含む多様な関係機関・団体が連携する地域づくりが不可欠です。そして、こうした地域づくりは、平時の健康増進に寄与するのみならず、災害などの健康危機発生時にも大きな力を発揮します。

この総会が、地域づくりと、健康危機管理を垣根無く推進していく一助になればという趣旨でこのテーマを設定いたしました。



【出展】
<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/kenkozokuri/kenzou/1024494.html>

ポスターデザイン・総会プロモーションビデオ

総会ポスターは、富士山を中心に据え、平時を象徴する青と危機時を象徴する赤・オレンジが溶け合うグラデーションで表現しました。これは、日常と非常時をシームレスにつなぐ「フェーズフリー」の理念を視覚的に表したものです。

また、総会プロモーションビデオでは、静岡県におけるフェーズフリーや健康推進の先進的な取り組みを紹介するとともに、静岡ならではの魅力的な観光スポットも取り上げています。総会テーマと地域の魅力が融合した映像を、ぜひご覧ください。

▶総会ポスター



▶総会プロモーションビデオ



第84回日本公衆衛生学会 「フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理」



学会総会ホームページ

会場のご案内

第84回日本公衆衛生学会はグランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）で開催します。

- 住所** 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3-1
- アクセス** JRでお越しの場合 JR静岡駅から東海道本線の上り方面に乗換、東静岡下車（3分）
東静岡駅南口からメインエントランスまで徒歩5分
- 静岡鉄道でお越しの場合 新静岡駅/新清水駅から長沼駅下車
JR東静岡駅コンコース通過、南口からエントランスまで徒歩12分

学会総会の運営組織

役員	名誉学会長	鈴木 康友	静岡県 知事	
	名誉顧問	難波 喬司	静岡市 市長	
	学会長	尾島 俊之	浜松医科大学健康社会医学講座 教授	
	実行委員長	田原 康玄	静岡社会健康医学大学院大学 教授	
	副会長	加陽 直実	静岡県医師会 会長	
		青山 秀徳	静岡県健康福祉部 部長	
		山本 哲生	静岡市保健福祉長寿局 局長	
		顧問	中野 祐介	浜松市 市長
		渡邊 裕司	浜松医科大学 学長	
	宮地 良樹	静岡社会健康医学大学院大学 学長		
	毛利 博	静岡県病院協会 会長		
				敬称略
	実行委員会 — 学術部会・各種委員会 (総務財務委員会・プログラム委員会・特別企画委員会・広報委員会・おもてなし委員会・国際委員会)			

みなさまのご参加を心よりお待ちしております

第84回日本公衆衛生学会総会
2025年10月29日(水)~31日(金)
会場 グランシップ (静岡県コンベンションアーツセンター・静岡市)
学会長 尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学講座 教授
実行委員長 田原 康玄 静岡社会健康医学大学院大学 教授

フェーズフリーの
地域づくりと
健康危機管理

学会総会への参加ご登録

学会総会への参加登録はインターネットを利用したオンラインでの登録です。学会総会ホームページの「参加登録」からお申し込みください。

なお、参加登録を行う期間により参加登録費が異なりますのでご注意ください。



学会総会ホームページ

事前参加登録 登録期間：2025年9月12日（金）まで 参加登録費：8,000円

当日参加登録 登録期間：2025年9月13日（土）-10月31日（金） 参加登録費：10,000円

主な企画・プログラム

本総会は現地開催とオンデマンド配信を行います

※タイトル、内容、日時は変更になる場合があります

10月28日（火）プレ企画

全国衛生部長会、全国保健所長会等の関連行事

グループワーク 持続可能なユニバーサルヘルスカバレッジと健康の公平性について考えるワークショップ



10月29日（水）学会総会1日目

開会式（10:30 - 11:00）

講演 音楽とともにある公衆衛生 - 人々の中へ、そして公衆衛生の力に -

講演 健康長寿のヒントは宇宙にある～長期宇宙滞在ミッションを通して見えるもの～
講師 金井宣茂JAXA宇宙飛行士

シンポジウム 新時代の感染症危機管理体制

グループワーク 若者のアルコール・薬物問題からの回復を支えるグループワーク

市民公開講座 18:50 - 20:40（現地会場のみ）
【参加無料】

🎬 映画上映会「終わりの見えない闘い - 新型コロナウイルス感染症と保健所 -」

▶映画について



▷ その他、30を超える公募セッションに加え、研究演題発表や自由集会在予定されています。

10月30日（木）学会総会2日目

学会長講演 フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理

シンポジウム フィンランドの母子保健システム導入による社会実装の効果：児童虐待と孤独予防の方策

シンポジウム 健康寿命日本一への挑戦

シンポジウム 日本のHPVワクチン接種状況と男性接種の効果についての多角的検証

シンポジウム 公衆衛生学分野におけるデータサイエンス技術の活用～特にAIや機械学習について～

▷ その他、40を超える公募セッションに加え、研究演題発表や自由集会在予定されています。



主な企画・プログラム

本総会は現地開催とオンデマンド配信を行います

※タイトル、内容、日時は変更になる場合があります

10月31日（金） 学会総会3日目

シンポジウム 複数災害に備えたフェーズフリーの広域災害対応

グループワーク 子どもの健康と未来を守る！ スマホ・ネット依存予防の実践を広げよう

シンポジウム 地域・職域における新たな高血圧対策： 日本高血圧学会からの提案

産業医講習会

10:00～12:00（現地会場のみ）

「最近の産業医活動における対応困難事例への対応」（実地2単位）

近年の労働態様の多様化や事業者・労働者の意識の変化等により、産業医活動においても対応に苦慮する事案を経験することが多い。このような事案にどのような対応をすべきかについて、提示された具体的な困難事例への対応をGWでの検討を通じ学ぶ。

参加者には日医認定産業医の更新に必要な実地単位を発行する。

▷ その他、30を超える公募セッションに加え、研究演題発表や自由集会が予定されています。



体験観覧企画

フロアベース企画 10/29 11:50-12:50 エンジョイ・卓球バレー

カーペットスペース企画 10/31 8:30-9:30 ヨガ療法のエッセンス



音楽関連企画

講演 10/29 15:00-15:40
音楽とともにある公衆衛生 一人々の中へ、そして公衆衛生の力にー

合唱 10/29 17:50-18:00
第84回日本公衆衛生学会合唱団
ヘンデル「メサイヤ」から第4番And glory of the load
第44番Hallelujah!

